



# 初の「オンラインの集い」チャレンジ

## 夕張の風物詩「雪月花展」第50回開催

2日～4日の3日間  
にわたって、夕張の風物  
詩「雪月花展」が開催さ  
れ、第50回目を迎えまし  
た。

昨年はコロナ禍で開  
催を断念しましたが、  
雪：【短歌・俳句・川柳】  
の方たちが作歌した歌  
と句を月：【書道】と花：  
【華道】の方がそれぞれ  
の部門で表現し、雪・  
月・花の各1点を一組と  
して17組が展示されま  
した。

一部をご紹介します。  
(敬称略)

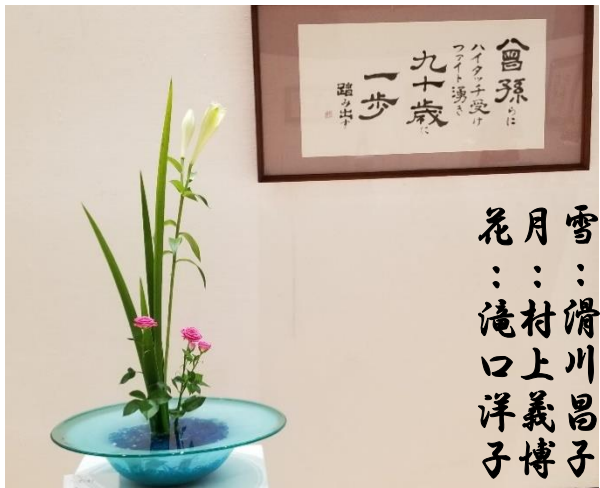


いつだって見つからぬ  
照れ屋の月か  
雪：西澤真理子  
月：大田口綾子  
花：鈴木美恵子

※四季の自然美の総称として“雪月花”という語が用いられるようになったのは、白居易(唐代の詩人)の漢詩の一部「…琴詩酒の友…雪月花の時 最も君を想う…」に基づいています。(雪月花展パンフより)



恋文 古代文字  
雪：一本直美  
月：高橋美瑛子  
花：駒ヶ嶺優子



曾孫らにハイタッチ受け  
フアイト傷き  
九十歳に一步踏み出す  
雪：滑川昌子  
月：村上義博  
花：滝口洋子



折る手の 葉や 鶴も 揃いけり  
雪：比志道子  
月：比志星翠  
花：本庄萬千子

### 語り合う場をオンラインでも対面でも さらに広げて！



6月29日午後2時より、日本共産党夕張市委員会事務所において、はたやま和也さんを囲む「オンラインの集い」が開催され、後援会役員など5人が参加しました。

今回は空知管内の後援会を結んでの「オンラインの集い」で、「緊急事態宣言下で、道の駅で農産物が売れないでしまった。何か補償策は」という農家の質問や、「野党共闘は進んでいくのか」、「他自治体でのワクチン接種の状況」、夕張からは「厳しい雇用情勢と観光支援策の考え方」など、多岐にわたる質問や要望が出されました。「日本共産党は応援するが、本当に政治そのものを変えられるのか」との疑問も根強くありました。

はたやまさんは、「だからこそ野党が本気になって、国民の命と健康を守るための政権交代へ旗印もはっきりさせて、力を込めて国民にも訴えるべき。野党のなかでも、揺るがずにがんばれる日本共産党が伸びてこそ、必ず変化はつくれます。

こういう語り合う場を、オンラインでも対面でも、さらに広げていきたいですね。」と話していました。



# サッカー場に子どもたちの歓声が戻ってきました

青葉・若葉が一番美しい季節、夕張の町に、サッカーを楽しまる人々が久しぶりに集まりました。

コロナ禍による緊急事態が解除になり、平和のサッカー場に、小学生の選手や保護者らの応援のみならず、が久々にサッカーを楽しんでいました。

また、かつて炭鉱住宅があった場所に、白いフランス菊やルピナス（登藤）が美しい姿をあちこちに現わしています。

初夏の夕張は今が一番美しい季節を迎えています。財政破綻以後、借金返済優先で、夕張



の素晴らしい自然を生かした公園が閉鎖・立ち入り禁止になっていました。本当にもつたいなく、悲しいことです。かつての炭鉱町、シホロカベツ川の上流には、石炭が河原に転がり、今も、ずり山から石炭を採取しています。

旧石炭の歴史村の奥には、心を満たす癒しスポットが随所にあります。

都市部の「コロナうつ」の人たちに、この夕張を知っていただきたい：そんな季節になりました。

## くずさんの夕張歴史散歩(160)

### 石炭博物館模擬坑の火災 ①

春まだ浅い4月、夕張市民は突然の出来事に凍り付きました。石炭博物館模擬坑の坑口からもくもくと黒煙が噴き出したのです。

2019年(平成三十一年\*)4月18日の深夜の事です。夕張の象徴と言われる炭層が露出して大露頭炭のそばです。財政破綻に苦闘している夕張市民にまたもや暗雲が立ち込みました。

### 坑内火災では坑口密閉か注水水没

かつて炭鉱会社は、事故が発生すると人命救助よりも坑道・坑内維持を優先させ、まだ入坑者が残っているにもかかわらず密閉・注水を幾度も強行してきました。

坑内火災の再現か。夕張に炭鉱がすべて閉山して久しく時が経っていますが、いまだ坑内経験のある市民は高齢とはいえ残っています。猛烈な勢いで吹きだす黒煙を見て、市民は暗然たる思いに駆られます。

夕張市消防署や開発局のポンプ車など23台を動員し、近くを流れるシホロカベツ川から大量の水をくみ上げ坑内に流しこみま

した。不眠不休の注水活動により、黒煙は3日間ほどで収まりましたが、ガス濃度と高温のため鎮火と判別できず、鎮火宣言を出したのは3週間も経った5月の13日だったのです。

\*この年5月1日から元号が変わり、令和となる。



紙 智子「国会かけある記」  
参議院議員

### 次は総選挙勝利で政権交代を

大激戦となった東京都議選は、大々的に流された「大丈夫論」を跳ね返し、「五輪を中止し、いのち優先の都政へ」と正面から訴えた日本共産党が、現有議席を越える19議席を確保し勝利することができました。ご支援をいただいた多くの方々に心から感謝いたします。

都議選を前後して17日には、札幌市内でキャラバンに取り組む畠山和也、伊藤りち子(三区重複)両比例代表候補と合流し、国会閉会後の街頭演説を行いました。

千島連盟の札幌事務所を訪ね、コロナの影響で停止しているピザなし交流や墓参できないつらい思いをお聞きました。

しんぐるまざあず・ふぉーらむ北海道の平井照枝代表とはオンラインでシングルマザーの就労や生活調査の結果など説明を受けました。

18日は、きょうされん北海道から障害施設で働く職員と利用者へのワクチン接種の要望を受け、「北海道食といのちの会」とは、ゲノム編集作物の質問主意書を出したことを報告し意見交換しました。

いわぶち友参院議員も合流し、新エネ普及促進協会の山形定先生との意見交換。北商連からはコロナ禍での支援の活動の現状と要望をお聞きました。その後、国会に戻り、「女のスペース・おん」から寄せられたロク被害者のワクチン接種の対策を内閣府から聞きました。避難先の自治体で居場所が知られることなくワクチン接種できることが確認できました。寄せられた要望の解決を政府につなぐ活動を発展させながら、総選挙勝利、政権交代を！